

家庭教育学級

だより第2号

中島公園の木々も少しずつ秋の色に変わる今日この頃、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

家庭教育学級の学習会も半ばを過ぎ、すでに必修学習を終えた学級もあります。学習内容も子どもや家庭教育に直結したもので、充実した内容の報告が届いています。

今回は、北郷小学校と発寒小学校で行われた学習会をご紹介します。

白石区)北郷小学校・北白石小学校 合同学習会

学習テーマ～英語を通した親子コミュニケーション講座～

講師：ECC英語講師 伊藤 真理子さん(北郷小学校学級生)



家庭で英語を使うようになると、子どもの授業への取組が積極的になりますよ！！



子どもが英語に抵抗を持つ前に、親子と一緒に簡単な英語を使っていきましょう！！

みなさんの感想等

- ・現在小学校でどのような英語学習が行われているかを知ることにより、家庭での親子のコミュニケーションに活用できることを学習できました。

- ・子どもたちにどれだけ興味を持ってもらうかは、まず親が興味を持って英語を使って会話することが大事であることが分かりました。

- ・子どもだけでなく、親も一緒に恥ずかしがらずに間違いを恐れず、学校で習ったことを繰り返し話することで会話ができるようになることを実感しました。

- ・間違いを恐れず、どんどん英語を使うことが一番大切で、実際に体験してみてそのことがよく分かりました。



西 区)発寒小学校・西陵中学校 合同学習会

学習テーマ～親業、コミュニケーションの重要性について学ぶ～

講師：親業インストラクター 北村 文子さん(英語教育ボランティア)



「ゴードンメソッド」を用いたドリー北村の親業の始まりですよ！

※ゴードンメソッドとは？

アメリカのゴードン博士が生み出したコミュニケーショントレーニングの事をゴードンメソッドと言います。そのねらいは下記の2点にあります。

- ・子どもが心を開いて気持ちを素直に出すことができる。
- ・親もありのままの気持ちで子どもに接することができる。

相互に分り合えることで人間関係がスムーズになり、子どもの考える力・生きる力・思いやり・自立心などを育むことにつながることになります。

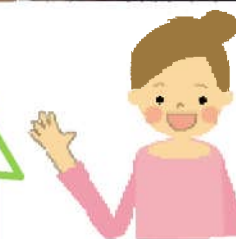
みなさんの感想等

- ・親と子どもの考えていることが一緒ではない。親の普通と子どもの普通はそれぞれ異なるので、コミュニケーションを取る中では気をつけなければと思いました。また、相手の気持ちや様子も気にしながら、会話のキャッチボールをすることが大切だと改めて認識しました。

- ・子どもとのコミュニケーションの中で、子どものサインを知ること、そのサインこそ心の傷を表している可能性があると思いました。



日常、よくある親子の会話を「子ども役」になって聞いてみると「子どもはこんな風を感じているんだな」とよく分かりましたよね。参加型の講座は内容が理解しやすく、家ですぐに実践できそうです。



学級生が講師になることにより、身近な課題を具体的に考えたり、その解決の仕方を学び合う取組でした。親子のコミュニケーションの一つの手段として、学校で学習している英語を家庭生活に取り入れるという学習内容でした。その効果を実体験することで、自分たちも簡単にできそうだという気持ちを抱かしてくれました。講師の方の「英語を身近に簡単にできますよ」という熱意が伝わってきました。



♪学習報告書の書き方についてのお願い♪

必修学習項目と学習した内容の詳細の(2)の欄の記載は、学習された内容の中で、子どもや家庭に関わることを詳しく書いてくださるようお願いしています。今までの報告書では、下記の事例のように学習された内容が十分に表現されていないものがあり、再検討していただくケースが多くありました。できましたら、提出前に学級長様の学習内容のチェックがあれば助かります。

学習報告書の(2)の欄

(2) 学習した内容の詳細(学んだことの中で『子ども・家庭に関わる内容』の部分に記載)

～例文として～

講師からの話を聞き、子どもについて～を学び、家庭でできることなどを意見交換した。

↑
①

↑
②

↑
③

このようなパターンの報告になった場合は、上記の①～③の点について下記のような視点で書かれるとよいと思います。

①→講師からの話の中で、子どもや家庭に関わることを書いてください。

例えば：スクールカウンセラーによる褒め方・叱り方についての話の場合

褒め方について、些細な事でも見つけて褒める。例えば、できない事ができるようになった。約束を守れた。認めてあげるにより自信につながる。叱り方について、その場ですぐに叱る。やったことを具体的に言う。曖昧な言い方をしない。言い方の間を開け、気を沈め、自分が子どもの立場になっていることを伝え、スキンシップをする。

②→子どもについて学んだ内容を具体的に書いてください。

例えば：外部講師による「子どもに響く言葉かけ」についての学習の場合

子どもの立場になって考えるには、根本的には全く違って、大人は生きるため、子どもは楽しむために生きている。そのことを理解して話をする。ありのままを受け入れる。子どものしつけのとき、「慌てず・焦らず・怒らず」お母さんという先生は、誰かに代わるということはない。かけがえのない先生であることを学んだ。

③→意見交換した内容を書いてください。

例えば：座談会で「子育ての悩みや不安」についての意見交換の場合

・お友達が家に遊びに来た時、おやつやDS(ゲーム)をどのようにしているか?⇒DS等のゲームは、その家のルールを守らせる(時間など)、おやつも同様に、その家のルールで用意したりすればよい。
・仕事の愚痴や家庭の不満等を子どもに話をしてしまうのは、いけないのか?⇒子どもも相談されることで、信用されていると思い、うれしいのではないか。

※学習報告書に学習内容が分かる資料を添付されてもよいです。

教育委員会からのお知らせ



1. 情報交換会日時と開催場所について

【幼稚園・小学校】

- 平成26年11月26日(水) 10:00～12:00 厚別区民センター2階会議室B
- 平成26年11月27日(木) 10:00～12:00 南区民センター1階第1・2会議室
- 平成26年12月 5日(金) 10:00～12:00 エルプラザ4階大研修室
- 平成26年12月 9日(火) 10:00～12:00 ちえりあ6階講堂
- 平成26年12月19日(金) 10:00～12:00 教育委員会6階AB会議室

【中学校】

- 平成26年11月28日(金) 10:00～12:00 教育委員会6階AB会議室

※申込締切 平成26年11月17日(月) 出欠に限らず「出欠票」を必ず提出してください。

※参加人数 1園・校2名以内

2. 親育ち応援団 食育座談会のご案内

シェフVSしゅぶのトークショー2014

～行っちゃだめ?子連れでイタリアン&フレンチ～

- 日時：平成26年11月6日(木) 10:00～12:00(開場9:30)
- 場所：札幌エルプラザ3階ホール(北区北8条西3丁目)
- 申込方法：札幌市コールセンターにて電話受付(先着順100人)
託児が必要な方は、10月22日まで申込(先着順30人)
※札幌市コールセンター(電話)011-222-4894
※受付時間8:00～21:00
- 内容：父親でもあり、シェフでもあるお二人から、レストランでよくある親子の様子もお聞きしながら、シェフ目線・しゅぶ目線で、どうしたら皆で楽しく食事ができるかを皆で考えます。
小さな可愛いおもちゃの紹介もあります。

